

陽だまり通信

市民福祉活動団体

「陽だまり」事務局
東広島市高美が丘六丁十四番十一
(0824) 341-1659

☆☆☆☆☆☆

熱気に流れた出演者 の顔かおれ 第一回陽だまり交流会開催



交流会であいさつする西岡代表

一月二十六日の土曜日、東広島市総合福祉センターにおいて、第一回陽だまり交流会が開催された。おとな、子ども合わせて四十三名の参加者をえて大盛況であった。

事務局長の市川さんの司会により、会がすすめられた。まず西岡代表のあいさつがあり、会員が一堂に会したことを喜びこの会でもより交流を深め、お互いに楽しんでほしい旨のことばがあった。

続いて出席会員の紹介にはいった。六か所のテーブルに分散して座り、それぞれのテーブルのスタッフが出席者一人一人を紹介した。弁当の到着までの間を利用して、小学生による手品の披露があり、そのかたかなマジックさばきにおもわず拍手がわいた。

お持ちかねの弁当の到着をうけて乾杯。食事タイム、しばらくは楽しい弁当に舌つみみの後、アトラクションタイムとなった。カラオケで熱唱する人、三味線を弾く人、大正琴を演奏する人、詩吟を披露する人、飛び入りで得意の歌をうたう人

みなそれぞれに場を盛りあげていった。第一部の最後は大正琴の伴奏にあわせて「ひなまつり」を全員で大合唱してしめくくった。

第二部は佐々木さんの軽妙な進行で、テーブル対抗ゲーム大会、お魚ピクニック、連想ゲームなど豪華な景品をめざして白熱した。あつという間に一時間が過ぎ、米田さんの閉会のことば、すなわち今日の交流会に感謝し、またぜひ開催してほしいとの要望でしめくくった。

悪天候にもかかわらず参加していただいた会員の方々に感謝したい。陽だまりはみんなのものであるということに改めて実感させた交流会であった。(楡山記)

私は二八歳の時に交通事故で首の神経を傷めてしまい(頸髄損傷)首から下が動かせません。一年半の入院生活の後親元での在宅生活を十五年続けましたが、四十五歳にして一発奮起!二〇〇一年四月より一人暮らしを始めました。介護は訪問看護や公的ヘルプサービスなど使っています。公的ヘルパーの派遣は二四時間/週の以内と決められており、手足の全く動かさない私にとっては雀の涙ほどで、不足分を「陽だまり」にお願いしている次第です。援助の内容は家事や書類の整理が主ですが、大工仕事、水槽の水換え、観葉植物の手入れなど公的ヘルパーではできない分野までして頂けるので大変助かります。生活に潤いとゆとりを与えてくれる温かい「陽だまり」に感謝!感謝!です。

第一回陽だまりサービス提供者の集い開催
第一回陽だまりサービス提供者の集い開かる
去る一月十九日(土)陽だまり事務所において第一回のサービス提供者の集いが開かれた。

当日は約二十名の会員が集まり、まず自己紹介そして活動に対する感想や意見交換を行った。今や陽だまり会員は一五〇名、会員だれもが納得し満足できる会にしていくためにこれからも皆で考え、知恵を出し合っていきたいものである。また日頃活動していてもなかなか顔を合わすことがない会員にとってこの日お互いを知るのによい機会となった。

陽だまりと出会って四月が過ぎた。たくさんの人との出会いの中で多くのことを学んでいる。知らないこと、ためになること、知恵と工夫。介護には全くの素人の私だが、少しずつ知識がついてくると介護にもゆとりが出てくるにちがいないと信じて今は無我夢中の毎日だ。人の心に添うこと、そしてその心を理解するということは容易ではない。しかし、助けが必要な人と共に過ごす

陽だまり活動への
《ご厚志芳名》
賀須井様 楡山(康)様
北島様 楡山(多)様
二川様 中川様
杉本様 廣瀬様
サムエル保育園様
ご厚志に対して会員一同感謝いたします。

私たちが人生の節目節目での「変化」というものに弱い。▲要はその変化というものに遭遇した際にどのように対応できるかという問題がある。▲ある人が、「老人はガラス細工のようなものだ」といった。▲要するに壊れやすい存在だと言いたいのだ。▲しかし私流に言えば、人間とりわけ老人は変化には弱い存在である。▲これらとえば病気になる、住んでいる所が変わる、境遇が変わる。連れ合いとの永遠のわかれがあるなどの変化である。▲これらに遭遇したときにどう対応できるか▲若いときのようにいわずに先が保障されていないだけに深刻である。だから人は年を重ねるにつれてものごとに対して保守的になり、守旧派に陥ってしまうものらしい▲だが人生の節目で最も変化が激しく、そのことに著しくとまどうのは思春期である。このことはだれでもみんな経験済みであるが(吉)

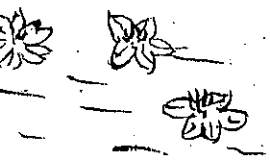


(市川記)



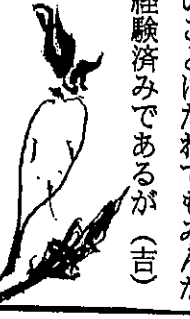
みずき

ふれあい広場



白菜をつけこむ
朝や水の精
冬陽背に五輪の塔を眺めけり
路地裏にひっそり
静かに暮のとう

陽だまり抄



私たちは人生の節目節目での「変化」というものに弱いらしい。▲要はその変化というものに遭遇した際にどのように対応できるかという問題がある。▲ある人が、「老人はガラス細工のようなものだ」といった。▲要するに壊れやすい存在だと言いたいのだ。▲しかし私流に言えば、人間とりわけ老人は変化には弱い存在である。▲これらとえば病気になる、住んでいる所が変わる、境遇が変わる。連れ合いとの永遠のわかれがあるなどの変化である。▲これらに遭遇したときにどう対応できるか▲若いときのようにいわずに先が保障されていないだけに深刻である。だから人は年を重ねるにつれてものごとに対して保守的になり、守旧派に陥ってしまうものらしい▲だが人生の節目で最も変化が激しく、そのことに著しくとまどうのは思春期である。このことはだれでもみんな経験済みであるが(吉)

陽だまり号 颯爽と街を 走るー念願の納車成る

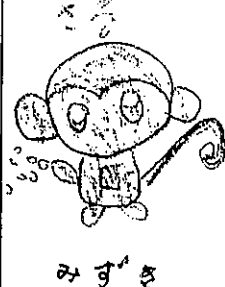
二月一日(金)、待ちとができそうである。まに待った福祉車両(車椅子用軽自動車)がとうとう納車になった。車の両横と後にはおなじみの、「愛は地球を救う二十四時間テレビ」の文字とシンボルマーク、そして両横には「陽だまり号」の文字が入ったとてもキュートな車である。

当日六名のスタッフが駆けつけ使用方の説明をダイハツから受けた。操作は思ったより簡単で、だれでも使いこなすことができる。



できたので、大変喜ばれた。これからは、この「陽だまり号」をどんどん活用していきたいものである。「陽だまり号」をどうぞよろしく。

(市川記)



冬になると気温が低くなり、大気の湿度も下がると、私たちの皮膚も水分と水分が不足して、潤いを保つことができずカサカサに乾きやすくなります。最近、日中エアコン等を、夜は電気毛布等を使用し、水分不足からますます皮膚の乾燥を起しやすくなっています。

また年をとると、ホルモンの分泌が減少し女性性は四・五十歳代にかけて男性は六十歳頃から急激に皮脂の量が減り、不足するようになります。若い人も皮膚の潤いを保つ働きは活発です。が、それが追いつかないほど室外的乾燥が激しくなっているため皮膚の乾燥が増えています。

皮膚の乾燥

子育てシリーズ(一) プロローグ 廣瀬吉夫

子育てはもちろん夫婦共同作業です。もちろん夫と妻にはそれぞれ役割は異なっています。なぜ私が子育てに拘っているのかといえますと、私は永年高校生とともに教育活動に携わってきたわけです。その高校の教員がなぜ子育てかといえますととても重要な課題のあることに気づいたからです。高校生を対象に、あるいはその親(ご)さんを対象にカウンセリングをしてきたわけですが、事例のほとんどが高校生になつてはじめて登場したケースが例外を除いて少ないのです。

すなわちそれこそお母さんのお腹の中にまでさかのぼっていかなければならぬケースがあまりにも多いのです。次回からその具体的なことを書いてみます。

ニカワの一口健康メモ (第二回目)

二川尚美 (本会顧問・看護婦)

皮膚の乾燥しやすいのは、腕や手、太ももやすねなどの四肢の部分です。特に膝から下は乾燥しやすく、六十歳すぎの男性では、カサカサになっていることがほとんどで八十歳の男性では四肢全部がカサカサになることが

乾燥によって起こる皮膚病

▼皮脂欠乏症(あるいは乾皮症、冬期掻痒症と呼ばれる)この段階なら、市販の保湿剤を塗るなど日常生活に気をつければ症状を改善できます。

▼手の湿疹

水仕事をしたり、手を頻りに洗ったりすると、手の平が乾燥し、刺激物などが皮膚に侵入して湿疹がでやすくなります。

乾燥しやすい部位に細菌が感染しやすいのではやめに治療を。

乾燥しやすい部位に細菌が感染しやすいのではやめに治療を。

多量といわれています。皮膚は体の表面を覆つて、外からの刺激から体を守る大切な役割を果たしている器官です。しかし、乾燥するとこのバリアの働きが果たせなくなり、刺激物やアレルギーを起す物質などいろいろのものが侵入しやすくなり、湿疹もでやすくなります。

皮膚科では、湿疹の症状に合わせた外用薬と、湿疹以外のカサカサの部分に塗る保湿剤の両方が処方されると思います。日常生活で気をつけること

▼フロアに必ず保湿剤を塗る

▼エアコン、電気こたつ、電気毛布など使い過ぎない

▼びびりたりした下着を身につける

▼入浴するときは保湿剤入りの石鹸や入浴剤を使う

冬期でも特に二月頃は皮膚が乾燥しやすくなる時期です。お年寄りの方「保湿剤を塗る」などスキンケアをして、皮膚の乾燥を予防し、若い人に勝る、肌美人、で過ごしましょう。

(長子)

かといえますと、私は永年高校生とともに教育活動に携わってきたわけです。その高校の教員がなぜ子育てかといえますととても重要な課題のあることに気づいたからです。高校生を対象に、あるいはその親(ご)さんを対象にカウンセリングをしてきたわけですが、事例のほとんどが高校生になつてはじめて登場したケースが例外を除いて少ないのです。

すなわちそれこそお母さんのお腹の中にまでさかのぼっていかなければならぬケースがあまりにも多いのです。次回からその具体的なことを書いてみます。

乾燥によって起こる皮膚病

▼皮脂欠乏症(あるいは乾皮症、冬期掻痒症と呼ばれる)この段階なら、市販の保湿剤を塗るなど日常生活に気をつければ症状を改善できます。

▼手の湿疹

水仕事をしたり、手を頻りに洗ったりすると、手の平が乾燥し、刺激物などが皮膚に侵入して湿疹がでやすくなります。

乾燥しやすい部位に細菌が感染しやすいのではやめに治療を。

乾燥しやすい部位に細菌が感染しやすいのではやめに治療を。

乾燥しやすい部位に細菌が感染しやすいのではやめに治療を。

乾燥しやすい部位に細菌が感染しやすいのではやめに治療を。

改めて
事務所開設のお知らせ
〒739-2115
高屋高美が丘
6-14-11
☎三四一六五九
受付時間 月～金
九時から十七時
※ご連絡はなるべく
時間内に

編集後記
泣いてゆく向ふに母や
春の風 汀女

ほのぼのと母のぬくもりを感じさせる句です。皆さんいかがお過ごしでしょうか。陽だまり通信第五号をお届けします。昨今の暗い悲しいニュースでもすれば私たちの心は沈みがちになりませんが、そんな皆さんの仕事に対する熱い思いを目のあたりにすると、どれほど勇気づけられ、救われたことでしょうか。これからも陽だまりの会が「春の風」のように温かさをお届けできるように努力してゆきたいものです。どうか皆さんのご意見ご支援をよろしく